

令和3年度米子市スポーツ推進審議会 発言要旨（委員からの質疑応答）

【スポーツ推進計画に掲げる施策の令和2年度事業実施状況について】

《市民体育祭について》

- 参加の少ない競技を人気の高い競技に変えたり、ポッチャなどを取り入れたりしてはどうか。（木村委員）

事務局⇒参加者が少ない競技も、競技団体から継続していきたいという声があり、引き続き実施している。競技団体と共に方向性を検討していきたい。

なお、市民体育祭ではないが、現在市主催のポッチャ交流大会や、各公民館へ競技団体に出張してもらい実施するユニバーサルスポーツ教室（ポッチャ、ウォーキングサッカー、スポーツ吹き矢など）を開催している。ユニバーサルスポーツ教室の状況については、次回より実績報告に掲載する。

- 公民館による参加の呼びかけをより積極的にしてはどうか。（木村委員）
 - 公民館において、現状よりも多く関わるのは業務量上なかなか難しい。（秋田委員）
- 事務局⇒いただいた意見について教育委員会に共有する。
- コロナウイルス感染症の影響で中止になった大会などの委託料はどう対応しているか。（木村委員）

事務局⇒実績に応じて米子市体育協会（現：米子市スポーツ協会）から返金を受けた。

《高齢者のスポーツ活動の推進について》

- がいなみっく予防トレーニングは、フレイル予防として重要な事業だと感じている。もっと拡大してもらえたら。（木村委員）

事務局⇒令和3年9月に実施施設が1箇所増え、実施を希望している事業者もあるため、今後実施箇所が増えることで、より参加しやすいものになると思われる。

- 報償費と委託料の違い？（木村委員）

事務局⇒ふれあいの里直営で実施したものは報償費、他の事業者に依頼し実施したものは委託料として計上している。

《障がい者のスポーツ活動の推進について》

事務局⇒（今後について。補足として）米子市心身障害者福祉センターと米子サン・アピリティーズは、令和3年度より指定管理者の変更があり、管理している体育館にポッチャ競技用のラインを引くなど、気軽にスポーツをできる準備をしている。パラリンピックの開催により、障がいのある人のスポーツにスポットが当たっている時でもあるので、今後もPRやご協力をお願いしたい。

- 各種スポーツ・体操講座の各種目は1回何円など単価が決まっているか。（木村委員）

事務局⇒単価は決まっていない。指定管理料全体のうち、競技に関する金額を載せている。

《地域のスポーツ活動の推進について》

- スポーツ推進委員には、ニュースポーツをどんどん取り入れる等、各公民館とよく協力して地域のスポーツを盛り上げて欲しい。（木村委員）

- やってみたいや塾、もっと回数を増やせないか。（木村委員）

事務局⇒新規・継続それぞれに回数制限があるのでそこが上限となる。ここでは健康運動士に関するもののみ報告しているが、運動だけでなく、栄養士や薬剤師、警察や消防とも連携しながら地域の支援を行っている。

《体育施設管理運営事業について》

- 地区体育館の雨漏り対策、和式トイレの洋式化を進めて欲しい。(椿会長)
事務局⇒修繕等は危険性の高い場所、急を要する場所から順次対応しているため、なかなか追いついていない現状がある。引き続き対応していく。

【アンケート結果報告について】

- 障がいの有無による集計で見えてくる内容もあった。男女別による集計を実施してはどうか。アンケートの回収率が40%に留まっているため、回答者に偏りがあることは考慮した上で計画見直しの参考にして欲しい。(片桐委員)
事務局⇒今後、男女別による集計を実施する。

【米子市スポーツ推進計画の見直し方針について・今後の市のスポーツ推進について】

- 学校の部活動について、これから休日は地域で見えていただく方向で考えられている。そういった今後を見通しながら見直しを進めて欲しい。(松田委員)
- 高齢者、障がい者がスポーツをしやすい環境の整備について考えていきたい。(椿会長)
- 高齢者や関節が弱い人の場合、プールでのウォーキングが実施しやすい。伯耆町の温泉プール利用料助成のように、プールでの運動をしやすい環境を考えてみて欲しい。(藤原委員)
- 障がいの有無に限らずできるスポーツは、高齢の方にもできるスポーツであると思う。ユニバーサルスポーツの普及に力を入れて欲しい。自宅でできる運動について、鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリアでは動画配信サイトを使用して発信している。市民に提供するスポーツ情報として活用して欲しい。(山下委員)
- チャンピオンシップのないスポーツをする場を用意することについて検討してはどうか。東山公園をもっと公園として遊びに行ける場とし、そこに集まった人々が短時間でスポーツを体験できるイベントを開くなど、手軽に日常の中でスポーツに触れられるようにしては。(松尾委員)
- 市の計画内個別目標については、目指す姿のため、現状値よりも少し背伸びしたものにしたい。県のアクションプランを参考にしながら検討して欲しい。(木村委員)